

講座について

本講座は、開発途上国が直面する様々な課題に向き合い、多様なリソースを活用して解決策を検討することを通じ、国際開発協力の視野を養うことを目的とします。

舞台とは、「モザンビーク」です。受講生は、同国が直面する課題に向き合い、その課題を解決するためのソリューションとなりえる具体的な「事業企画案（プロポーザル）」を立案するプロセスに参加します。

作成した事業企画案は、JICA モザンビーク事務所へのプレゼンテーションを通じて審査され、優れた事業企画案は現実の ODA 事業案として本格検討される可能性があります。

受講生は、同国にある無数の課題のなかから、JICA 事務所が取り組もうとしている四つの重点課題ごと数人のメンバーからなるグループを形成し、事業案作成に取り組みます。各課題を解決するための方策は JICA 事務所が仮説的検討をしています。受講生は、この仮説に対し、有効なソリューションを見つける検証作業（どのようなリソースをマッチすることで実現可能となるか等）を行っていくことが期待されます。

JICA モザンビーク事務所が提示する重点課題

課題 1. 廃棄物（特にマプト首都圏の有機ごみ、産業ごみ）の増大と廃棄物処理にかかる行政コストの増大

解決に向けた仮説①ごみ減量に向けた有機ごみのコンポスト化、仮説②ごみ減量に向けたリサイクルの推進、リサイクル産業誘致、仮説③ごみ処理にかかる行政コスト軽減

課題 2. フルーツの生産ロス モザンビーク産フルーツは生産地でのロスが 30-50%、市場に届くまでに更に 20%近くがロスしている現状

解決に向けた仮説①需要に合わせた生産管理の導入、仮説②保存を効かせるための加工処理機材の導入（乾燥、ジュース化等）、仮説③農民組織化による品質向上、仮説④消費者マーケティングを通じた商品プロモによる需要側の喚起

課題 3. 教育の質に関する課題、特に学校に通っていても生徒が主体的に学んでいないことが深刻な問題。国語・算数のような基礎的な学力スキルも十分でない中で、新カリキュラムでは（世界の潮流でもある 21 世紀スキルとも言われる）非認知スキル（思考力、判断力、表現力等）を含めた包括的な学びを目指しているが、実施体制が整っていない

仮説①学びに焦点を置いた教育の質改善に向けた、非認知スキルの導入・実践と教育のあり方の見直し、仮説②包括的な学び促進のために学びのプロセスをモニターしてサポートをするための形成的評価(formative assessment)とその体制強化

課題 4. 北部州カーボデルガード州の復興支援 テロ活動により荒廃した同州の復興につき、他ドナー作成レポート等を読み解き、日本の技術、知見を活用した復興事業の形成を提案する。

本課題については、仮説そのものの構築から考案していただくこととなります。

各日程における実施内容（予定）

（講座開始前に、今後読んでおくべき課題文献の一部が提示されます）

第1週 午前の部 10月14日(土) 午前の部: オープニングセッション

講座全体のガイダンス、各種ツールやアプリの使い方の説明、チームビルディングなどを行います。

会場: JICA 横浜センター

午後の部 10月14日(土) 午後の部: 対象国の課題を把握する

モザンビーク全体の課題および JICA 事務所が着目している特定課題とその背景の説明をグループに分かれて検討します。

会場: JICA 横浜センター

第2週 10月21日(土): 課題解決への道筋の描き方を学ぶ

個々の課題を解決する方策についてのいくつかのオプションおよびリソースについて検討します。

会場: JICA 横浜センター

第3週 10月28日(土): 事業計画の作り方を学ぶ

プロジェクトを立案するために不可欠な技法を修得します。

会場: JICA 横浜センター

第4週 11月04日(土): 事業計画の素案をつくってみる

各チームが作成してきた素案をみんなで揉んでゆきます。

会場: JICA 横浜センター

第5週 11月11日(土): フィールドに出て生の情報を獲ってくる

課題解決に不可欠と思われるリソースとしての企業や NGO、研究者などを訪問してもら

います。

会場: 各チームのフィールドにて

第6週 11月18日(土): 中間発表会

JICA に向けてここまでの成果を報告し、フィードバックをもらいます。

会場: JICA 横浜センター

第7週 11月25日(土): 事業計画案を改善する

中間報告でもらったコメントを受けて対処策を練ります。講座のメンバーどうしでピアレビューを行います。

会場: 横浜国立大学

第8週 12月02日(土): 事業計画案を完成させる

仕上げてきた事業計画を講座のメンバーどうしでピアレビューします。

会場: 横浜国立大学

第9週 12月09日(土): 最終発表会

JICA へ向けて ODA 事業計画案のプレゼンを行い審査を受けます。発表会の様子はリアルタイム配信にて一般に公開されます

会場: 横浜国立大学 (仮)

12月13日(水)17時～(日本時間) 【仮】ピッチ(選抜グループのみ):

最終報告会で選抜されたグループのみが JICA モザンビーク事務所内で実施される英語でのピッチ(事業計画計画のプレゼンテーション)に臨むことができます。日程は選抜されるグループの数等によって変更される可能性があります。

第10週 12月16日(土) クロージングセッション

最終成果およびここまでの全行程の振り返りを行います。振り返りにあたって、事前に振り返りのレポート(フォーマットは後に指定)を提出していただきます。

別途、参加者の要望等に応じて、自由参加のスピノフ講座や交流会なども企画する予定です。